

持株会社体制への移行について

伊予鉄道株式会社（本社：松山市、代表取締役社長：清水 一郎）は、本日開催の取締役会において、グループが将来にわたって更なる持続的成長と企業価値向上を続けるため、平成 30 年 4 月 1 日を目途に持株会社体制に移行すべく、その準備を開始することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

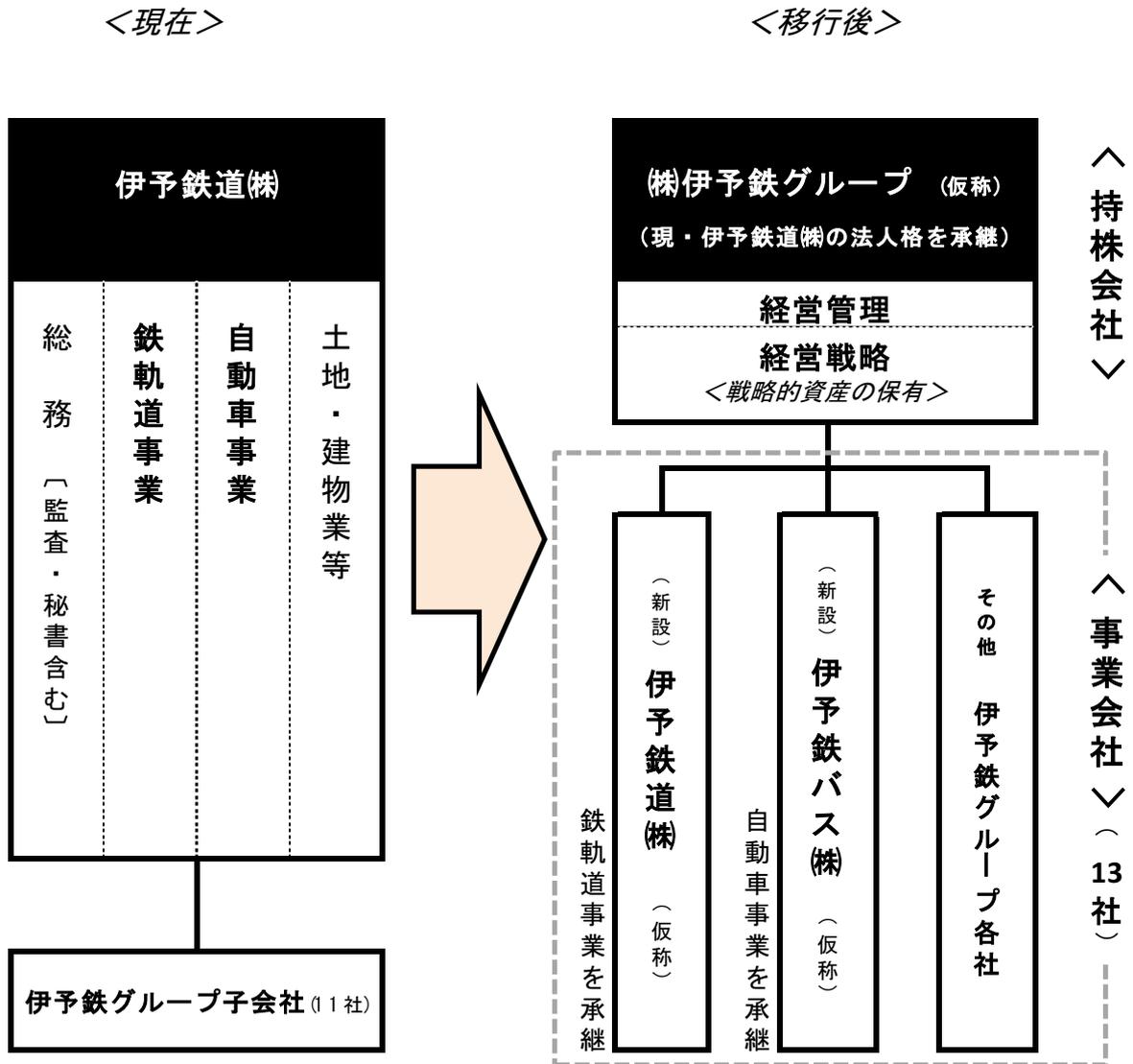
1. 持株会社体制への移行目的

伊予鉄道は明治 20 年に創立し、運輸事業に加え、百貨店・旅行業・飲食・不動産・サービス等の新規事業展開により、時代にあった進化を続けてきましたが、今後は人口減少や消費者の価値観の変化など、グループを取り巻く社会・経済環境の大きな変化への対応が求められます。

そのため、現在「チャレンジプロジェクト」を展開するとともに、グループ力向上を目的に連結経営に注力しております。その改革を加速させ、各事業の特性を活かしつつグループの総合力を最大限に発揮し、更なるグループ経営機能の強化と各事業会社の自立的経営により、創立 130 周年を迎える伊予鉄道が、更なるステージにたち、将来にわたって持続的成長と企業価値向上を続けるため、持株会社体制へ移行するものです。

持株会社ではグループ全体の経営方針を決定し、最適な経営戦略の立案や、経営資源の配分、各事業会社業務遂行に当たったの連携調整機能を果たすとともに、グループ全体の資産やノウハウの積極的な有効活用を図るなど各種施策を推進します。一方、各事業会社は、事業に関する権限と責任のもと、これまで以上に外部環境の変化やお客様のニーズに迅速かつ的確に対応できる体制とし、成長し続ける『強い伊予鉄グループ』を目指します。

2. 持株会社体制移行後のグループ体制



3. 今後の予定

平成 29 年 6 月下旬 株主総会決議

平成 30 年 4 月 1 日 持株会社体制に移行

以上

＝お問い合わせ＝
総務課
Tel：089（948）3222